

学校だより



つよく あかるく すなおに

学校教育目標

学ぶことを楽しみ、次の学びに意欲がもてる子どもを育てる

第2号

北海道教育大学附属特別支援学校 令和5年7月25日（火）発行

子どもたちの「願い」について考える

研究主任 中村 耕太郎

「こっちの色で塗りたい」「友達に気持ちを伝えたい」「自分の体験したことを表現したい」。子どもたちには様々な「願い」があります。今年度の研究では、こうした願いをより具体的にし、私たち教員や保護者の皆さんと共通理解を図りながら自己実現を目指すことを大切にしています。小学部の制作活動の授業では、ダンボールハウスに色を塗り、自分だけの家を作る活動の中で、「選ぶこと」「決めること」を繰り返しながら表現することの楽しさに気づき、願いの実現を目指しています。中学部の体育活動の授業では、陸上競技「バトンパス」の中で、スムーズなバトンパスをするために相手に自分の考えを伝えたり、相手の話を聞いたりなど、集団でのやりとりの中で自分や仲間との違いを理解し、仲間と一緒に活動することの楽しさを味わい、願いの実現を目指しています。高等部の総合的な探求の時間の授業では、生徒が作成した「五感日記」と写真や動画などを活用して1学期を振り返り、生徒自身が一番伝えたいエピソードを選択して報告する活動をしています。このように、生徒一人ひとりが考え、表現していくことを通して、願いの実現を目指しています。



7月22日（土）に行われた公開研究協議会では、来校及びオンラインを合わせて150名近い方が参加をして頂き、子どもたちの活躍を間近で見させて頂きました。保護者の皆様には当日の送迎等のご協力をありがとうございました。

小学部の活動～様々な対象とのかかわりの中で～

小学部主事 中條 由紀子

小学部は、子ども一人一人が自分の好きなことや、やってみたいことを見付け、自分の良さを生かして楽しみながら活動に取り組むことを目指して学習活動を展開しています。

朝の会活動では、一日の日課を確認し、その中から、一人一人、がんばりたいことや楽しみなことを選んで一日を始めています。

一学期には、入学式のほか、身体測定や各種健康診断、避難訓練、全校朝会、全校集会などがありました。全校の児童・生徒が集まった形式で行う全校朝会や全校集会も久しぶりに経験することができました。教室での活動と違って、緊張する場面もありますが、事前学習を行うことで安心して取り組んでいます。また、7月には、「わくわくタイム」や「遊び活動」の学習で、シャボン玉遊びや水遊び、七夕を行いました。季節に応じた活動、地域の伝統的な行事を知り、教師や友達と一緒に経験する学習も行っています。

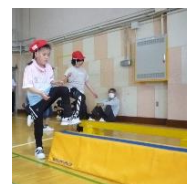
子どもたちが「学ぶ楽しさ」を味わう機会を大切に、そして、一人一人の好きな活動や楽しい経験が増えていくことを願っています。



小学部きりのめ体育祭

6月9日(金)に小学部きりのめ体育祭を実施しました。当日は雨のため体育館での実施となりましたが、児童一人一人が一生懸命取り組む姿が見られました。

ラジオ体操では6年生が前に立ち、体操の手本を示してくれました。下級生もその手本を見ながら体操に取り組むことができました。サーキットランでは、平均台、跳び箱、飛び石、またぎ棒などの種目を、汗を流しながら懸命に取り組みました。玉入れは保護者参加種目で、親子で協力しながらかごに向かって玉をたくさん入れました。玉入れ後の片付け競争も、意欲的に片付ける児童の姿がとても印象的でした。練習や事前学習も含めて、体育祭に向けてたくさん学習をしてきました。体育祭の経験が、子どもたち一人一人の成長につながっていくことを期待しています。



中学部きりのめ体育祭

6月16日(金)に中学部きりのめ体育祭を実施しました。

今年は、「えがおで なかまと こえろ」をテーマに、個人種目「N チャレンジ」や団体種目「宅配ゲーム」、いか踊り、係活動に取り組みました。N チャレンジでは、またぎ棒のコースとミニハードルのコースを用意し、自分たちで選択できるようにしたことで、より意欲をもって取り組むことができました。また、競技や係活動の他にも、仲間と協力して競技の補助をしたりたくさん応援したりして笑顔で体育祭を終えることができました。今後の学校生活でも笑顔で仲間と一緒に様々な課題を乗り越えていくことを期待しています。



高等部きりのめ体育祭

6月23日(金)に高等部きりのめ体育祭を実施しました。

昨年度の反省を踏まえつつ、本年度はさらにバージョンアップした「みんなで作り上げる体育祭」と銘打って、選択学習の3つのグループに分かれて話し合い、協力しながら活動を作り上げていきました。

当日はあいにくの雨でしたが、生徒の皆さんは体育館でそれを吹き飛ばすような熱の入った活動を繰り広げました。最後まであきらめない姿を見せた「持久走」、体育グループの工夫が随所に見られ、走りやすくなった「M チャレンジ」、音楽グループが中心となった「ジンギスカンダンス」、そして学級の団結力が発揮された「お題リレー」、どれも素晴らしかったです。また、今年度から声を出して応援できるようになったので、美術グループが考案した「メガホン」を使って、一生懸命応援していました。まさに、スローガンの「仲間と協力して楽しい体育祭にしよう」を本番で体現できました。この経験がこれからの活動にも生かされることを期待しています。

